



教授

小宮 正安

コミヤ マサヤス

都立イノベーション学府 教育人間科学部人間文化課程 (兼任)

komiya@ynu.ac.jp

総合人文社会
文化史/地域研究/観光学

文化史/地域研究/観光学

ヨーロッパ文化史
地域研究 (オーストリアを中心とする中央ヨーロッパ)
ドイツ語・ドイツ文学
観光・町おこし
芸術社会史

【研究概要】

ヨーロッパ文化史、芸術社会史、地域研究 (オーストリアを中心とする中央ヨーロッパ)、ヨーロッパにおけるツーリズムとその応用可能性について

【アドバンテージ】

ヨーロッパをフィールドに、文化 (観光、多文化共生等) と芸術 (音楽、建築、コレクション等) を、広く社会とのつながりの中で考察してゆくことを心がけています。研究の成果は、テレビ・ラジオへの出演や新聞・雑誌への寄稿、企画展の監修、市民講座等での講演、プログラム執筆等をはじめとして広く社会に発信しています。

【事例紹介】

- 『東京・春・音楽祭 マラソンコンサート (音楽興行師ザロモンと作曲家)』企画監修・ナビゲーター (2015年4月 主催:東京・春・音楽祭)
- 『狂言風オペラ (ドン・ジョヴァンニ)』『同 (魔笛)』『同 (フィガロの結婚)』脚本執筆 (2006-2014 企画: ヴォイスिंग): 狂言とオペラの異文化融合を目指した舞台作品で、日本国内をはじめ、2011年にはドイツ各地でも公演がおこなわれました。
- 『その時歴史が動いた (音楽の市民革命 ～神童モーツァルトの苦悩)』(2008年4月 NHK) ゲスト解説

■ 相談に応じられるテーマ

ウィーンやオーストリアを中心とするヨーロッパの文化・芸術・社会に関する知識提供、コンサートや展覧会の企画・解説・ナビゲーション、展覧会・展示会のディスプレイ、舞台芸術における異文化交流、文化・芸術・社会関係の日独翻訳、ツーリズムら文化事業に関するアドヴァイス

■ 主な所属学会

日本独文学会
日本ワーグナー協会

■ 主な著書

- 「名曲誕生 時代が生んだクラシック音楽」山川出版2014/3
- 「音楽史 影の仕掛人」春秋社2013/8
- 「オーケストラの文明史」春秋社2011/9
- 「モーツァルトを (造った) 男 ケツヘルと同時代のウィーン」講談社現代新書2011/3
- 「ウィーン 多民族文化のフーガ」大修館書店 2010/3
- 「愉悦の蒐集 ヴンダーカンマーの謎」集英社新書 2007/9
- 「ハプスブルク家の宮殿」講談社現代新書 2004/4
- 「祝祭の都ザルツブルク 音楽祭が育てた町」音楽之友社 2001/8
- 「オペラ楽園紀行」集英社新書 2001/6
- 「ヨハン・シュトラウス ワルツ王と落日のウィーン」中公新書 2000/12